

# 営繕積算システム RIBC2 の主な変更点 (Ver.12.10 から Ver.13.00)

## 【標準単価作成システム】

### 1. セキュリティ機能の強化

標準単価ファイルの新規作成を行う際、標準単価ファイルを提供または貸与する、外郭団体や設計・積算事務所などのユーザーID を、公開情報のシステムファイルに登録しておくこと、登録済みの外郭団体や設計・積算事務所などのユーザー一覧が表示されます。(都道府県の場合は、管轄の市区町村一覧が表示されます。)

一覧からユーザーを設定することで、設定したユーザーだけが、標準単価ファイルを開くことができるように制限する機能を追加しました。

#### <国、政令指定都市、市区町村等>

ユーザーID	ユーザー名	データ公開内容	公開情報
<input type="checkbox"/> 30-11111	A事務所	0円クリア後マスク表示	×
<input type="checkbox"/> 30-22222	B事務所	0円クリア後マスク表示	×
<input type="checkbox"/> 30-33333	C事務所	0円クリア後マスク表示	×

#### <都道府県 (例：北海道)>

ユーザーID	ユーザー名	データ公開内容	公開情報
<input type="checkbox"/> 10-01101	札幌市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01218	赤平市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01204	旭川市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01216	虻田市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01211	網走市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01205	石狩市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01210	岩見沢市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01227	歌志内市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01231	恵庭市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01217	江別市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01203	小樽市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01207	幕広市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01234	北広島市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01208	北見市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01206	網走市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01220	士別市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01228	砂川市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01225	滝川市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01233	伊達市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01224	千歳市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01213	苫小牧市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01221	名寄市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01223	標葉市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01230	釧路市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01202	函館市	すべて	○
<input type="checkbox"/> 20-01215	美幌市	すべて	○

※ 単価計算に使用した歩掛りファイルの公開情報にも同様の設定が登録されます。

## 【内訳書作成システム】

### 2. 『公共建築工事共通費積算基準(令和6年改定)』に対応

『公共建築工事共通費積算基準（令和6年改定）』及び『公共建築工事積算基準等資料（令和6年改定）』にあわせて機能を追加しました。

<新規作成>

新規作成

共通費の算定方法  
 率による算定(率に含まれないものは積み上げによる)(R)  専門工事業者からの見積りを参考に計上(T)  この内訳書では共通費を算定しない(U) 営繕工事

工事名称(M) 工事場所(B) 工事コード(K): 作成年月日:

内訳書の書式  
C:\ProgramData\RIBC\RIBC2\RIBC12\UCW\System\公共建築工事内訳書標準書式(令和5年改定).xlsx  
 公共建築工事内訳書標準書式: 公共建築工事内訳書標準書式(令和5年改定)  
 独自書式(名称)(Q):

共通費基準  
C:\ProgramData\RIBC\RIBC2\RIBC12\UCW\System\公共建築工事共通費積算基準(令和6年改定).kygb  
 公共建築工事共通費積算基準: 公共建築工事共通費積算基準(令和6年改定)  
 独自基準(W): 公共建築工事共通費積算基準(令和5年改定)  
公共建築工事共通費積算基準(平成28年改定)  
公共建築工事共通費積算基準(平成26年版)

工事種別	【種目】	工事種別	敷地	科目/中科目	別紙挿入
<input type="checkbox"/> 建築工事	<input type="checkbox"/> 【種目】1	建築工事 新築工事	敷地1	建築工事内訳書標準書式	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 【種目】2	建築工事 新築工事	敷地1	建築工事内訳書標準書式	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 【種目】3	建築工事 新築工事	敷地1	建築工事内訳書標準書式	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 電気設備工事	<input type="checkbox"/> 【種目】1	電気設備工事 新築工事	敷地1	電気設備工事内訳書標準書式	<input type="checkbox"/>

<プロパティ>

プロパティ

共通費の算定方法  
 率による算定(率に含まれないものは積み上げによる)(R)  専門工事業者からの見積りを参考に計上(T)  この内訳書では共通費を算定しない(N) 営繕工事

参照ファイル 編集 表示 カスタマイズ

内訳書の書式(M)  
C:\ProgramData\RIBC\RIBC2\RIBC12\UCW\System\公共建築工事内訳書標準書式(平成24年版).xlsx  
 公共建築工事内訳書標準書式(X)  
 独自書式(名称)(Q)

共通費基準(K)  
C:\ProgramData\RIBC\RIBC2\RIBC12\UCW\System\公共建築工事共通費積算基準(令和5年改定).kygb  
 公共建築工事共通費積算基準(Y)  
公共建築工事共通費積算基準(令和5年改定)  
公共建築工事共通費積算基準(令和6年改定)  
公共建築工事共通費積算基準(令和5年改定)  
公共建築工事共通費積算基準(平成28年改定)  
公共建築工事共通費積算基準(平成26年版) 内容更新

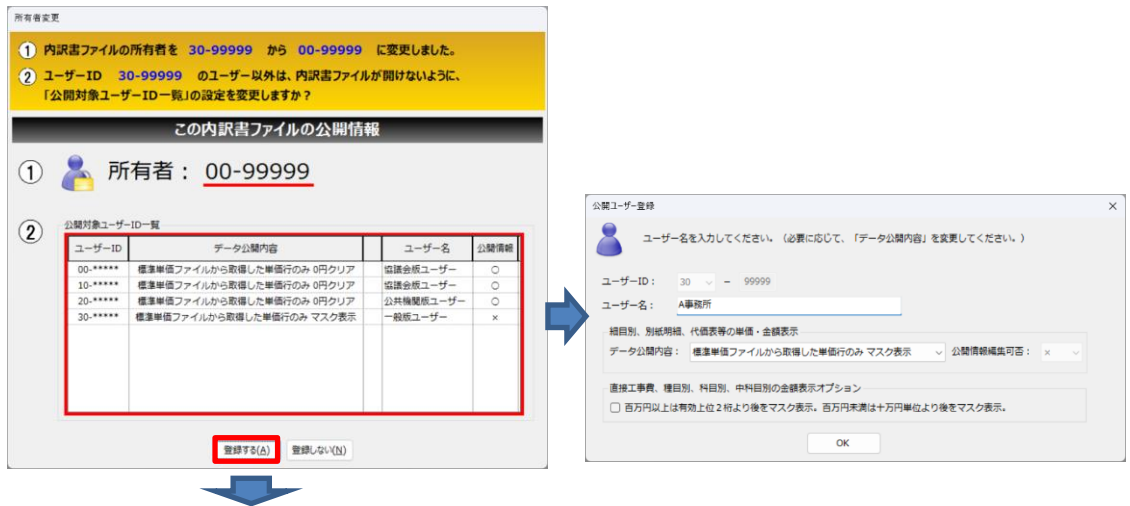
OK キャンセル

※ 『公共建築工事共通費積算基準（令和6年改定）』と『公共建築工事共通費積算基準（令和5年改定）』及び『公共建築工事共通費積算基準（平成28年改定）』等の共通費基準を選択できます。

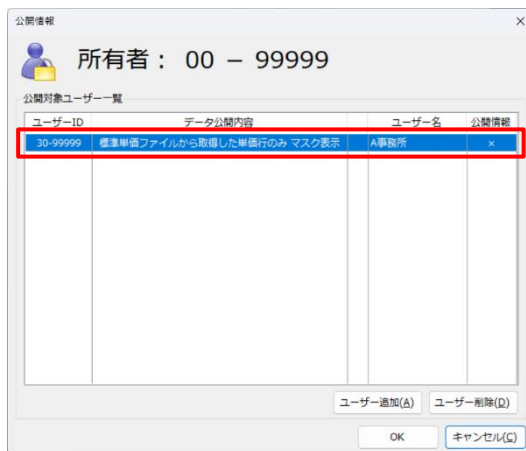
### 3. セキュリティ機能の強化

#### 1) 公開情報

設計・積算事務所から初めて提出された内訳書ファイルを受領した際に、公共機関が、積算外注先の設計・積算事務所の「ユーザーID」等を公開情報に設定する手間を軽減するために、設計・積算事務所の「ユーザーID」等を公開情報に登録するか否かを選択することで、内訳書ファイルを開けるユーザーを制限できる機能を追加しました。

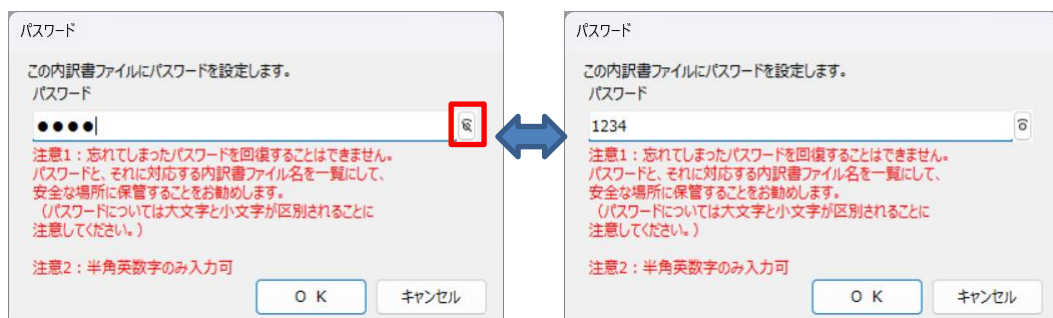


<ファイル → セキュリティ → 公開情報>



#### 2) パスワード

パスワードの入力ミスがないか確認できるように、「目のマーク」を追加しました。

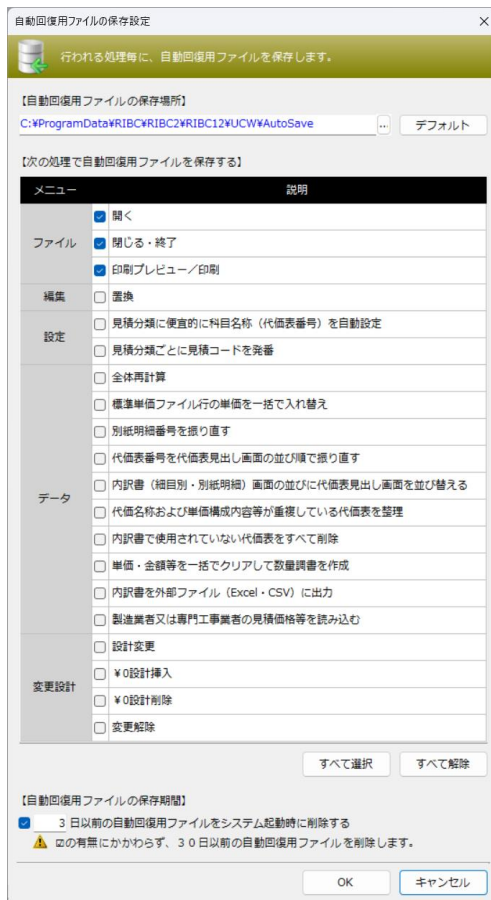


#### 4. 内訳書ファイルの自動回復用ファイル保存機能(バックアップ機能の強化)

作業中の内訳書ファイルを「保存せずに間違えて終了してしまった」場合や、「何年何月何日何時何分何秒」の処理を行う直前(「開く」のみ直後)の状態まで戻りたい等、もう一度修正するとなったら大変な後戻り作業を軽減するために、「自動回復用ファイルの保存設定」と「自動回復用ファイルを開く」機能を追加しました。



##### ① 自動回復用ファイルの保存設定 (自動回復用ファイルを保存したい処理に☑。)



##### ② 自動回復用ファイルを開く



## 5. スライドの出来形部分の共通費及び出来高額の算定機能

『賃金等の変動に対する 工事請負契約書第26条第6項（インフレスライド条項） 運用マニュアル（暫定版）（営繕工事版）』に準じた、**出来形部分の共通費及び出来高**を算定する機能を追加しました。（単品スライドは適用外）

直接工事費	共通費
残工事 70	残工事 25
出来形 (対象外) 30	出来形 25

出来高

工事名	
請負代金額	円（消費税含まず）
	円（消費税含む）
設計書金額	円（消費税含まず）
	円（消費税含む）
工期	自 令和 年 月 日
	至 令和 年 月 日
基準日	令和 年 月 日
出来高	円（税抜き）
残工事額（P <sub>1</sub> ）	円（税抜き）
変更残工事額（P <sub>2</sub> ）	円（税抜き）

注1：スライド額を算出機能ではありません。（スライド額は、別途算定してください。）

注2：既済部分の共通費及び出来高を算定する機能ではありません。

<参考> 『国土交通省 官庁営繕の技術基準 3. 施設整備関連基準』より

地方整備局営繕工事既済部分出来高算出要領（案）

地方整備局営繕工事既済部分出来高算出要領（案）

（目的）

第1 この要領は、地方整備局の所掌する営繕工事の出来高算出の方法を定め、もって既済部分検査を適切に実施することを目的とする。

（用語の定義）

第2 この要領における用語の定義は、次の各号の定めによる。

一 出来形

工事請負契約書における部分払の規定に基づく出来形部分並びに工事現場に搬入済みの工事材料及び製造工場等にある工場製品（設計図書で部分払の対象とすることを指定したものに限る。）をいう

二 出来高

部分払の対象とする出来形に相応する請負代金相当額をいう。

三 出来高率

予定価格の基となる工事費内訳書に示された直接工事費（直接仮設に要するものを除く。）に対する部分払の対象とする出来形の直接工事費に相応する額の割合をいう。

（出来高の算出）

第3 出来高は、次の式により算出した出来形に相応する工事価格（その額に千円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額）に、これに対する消費税等相当額を加えたものとする。

$$(P - T) \times r$$

（この式において、P、T及びrは、それぞれ次の数値を表すものとする。）

P：請負代金額

T：請負代金に対する消費税等相当額

r：出来高率（当該出来高率に小数点以下2位未満の端数があるときは、これを切り捨てた率）

附 則

この要領は、平成29年4月1日から適用する。

## 6. 印刷機能の機能追加

出来形部分と残工事部分に分けた内訳書ファイルを印刷する際に、印刷物の枚数を削減したい場合、印刷書式設定で「出来形部分の金額一括」に  をすることで、**出来形部分に相応する基準日以前の単価**の行を一行にまとめて印刷する機能を追加しました。

印刷書式設定

印刷書式設定1 書式名(E): 印刷書式設定1

設定 独自書式オプション

印刷スタイル

標準書式(N)  A4縦  A4横  A4縦2段

独自書式(O) 当初設計: (未設定) 変更設計: (当初設計と同じ)

表紙オプション

表紙と工事概要を別々に印刷

契約日程印刷  工事費印刷

決裁欄印刷  内訳書タイトル印刷

印刷順序

デフォルトの並び順

表紙

工事概要

総括表

工事費内訳書

工事種別内訳書

種目別内訳書

科目別内訳書

中科目別内訳書

細目別内訳書

別紙明細書

共通費算定書

共通費明細書 (共通仮設費・現場管理費・一般管理費等)

共通費別紙明細書

共通費率算定書

代価表一覧

代価表

仕分け別内訳書

仕分け金額

端数処理

標準単価ファイルリスト

表紙オプション

表紙と工事概要を別々に印刷

契約日程印刷  工事費印刷

決裁欄印刷  内訳書タイトル印刷

中科目別内訳書

種目毎  科目毎

別紙明細書/共通費別紙明細書

詰めて印刷  別紙明細毎

代価表

詰めて印刷  代価表毎

使用代価表のみ  全ての代価表

代価表フッターの凡例なし

ページ番号  用紙毎  内訳書毎

印刷順序  内訳書順  種目順

工事費内訳書

全て印刷

直接工事費のみ印刷

工事費格まで印刷

工事費まで印刷

変更1回以降

すべて

2段目のみ

3段目のみ

消費税率

単価・金額を出力しない場合でも、金額がマイナスの場合は▲のみ出力

変更設計

全て

変更なき金額一括

変更のみ

共通費算定書・共通費率算定書

共通費基準

主たる工事

内訳書タイトル(I):

公共機関名(K):

システム記憶(S) システム値に戻す(B) 更新(U) OK キャンセル(C)

**出来形部分に相応する基準日以前の単価**

建箇工事	細目別内訳	左	右	単位	単価	金額	備考
出来形部分						583,161	
出来形部分						211,271	
出来形部分						▲652,931	
出来形部分						82,450	
出来形部分						250,800	
出来形部分						250,800	
出来形部分						4,752	
出来形部分						4,752	
出来形部分						14,433	
出来形部分						14,433	
出来形部分						191,224	
出来形部分						191,224	
出来形部分						152,320	
出来形部分						152,320	
出来形部分						25,149	
出来形部分						25,149	
出来形部分						82,480	
出来形部分						82,480	
出来形部分						1,095,439	
出来形部分						195,577	

**残工事部分に相応する基準日時点の単価**

建箇工事	細目別内訳	左	右	単位	単価	金額	備考
残工事部分						82,450	
残工事部分						82,450	
残工事部分						250,800	
残工事部分						250,800	
残工事部分						4,752	
残工事部分						4,752	
残工事部分						14,433	
残工事部分						14,433	
残工事部分						191,224	
残工事部分						191,224	
残工事部分						152,320	
残工事部分						152,320	
残工事部分						25,149	
残工事部分						25,149	
残工事部分						82,480	
残工事部分						82,480	
残工事部分						3,920	
残工事部分						3,920	
残工事部分						25,149	
残工事部分						25,149	
残工事部分						82,480	
残工事部分						82,480	
残工事部分						1,095,439	
残工事部分						195,577	

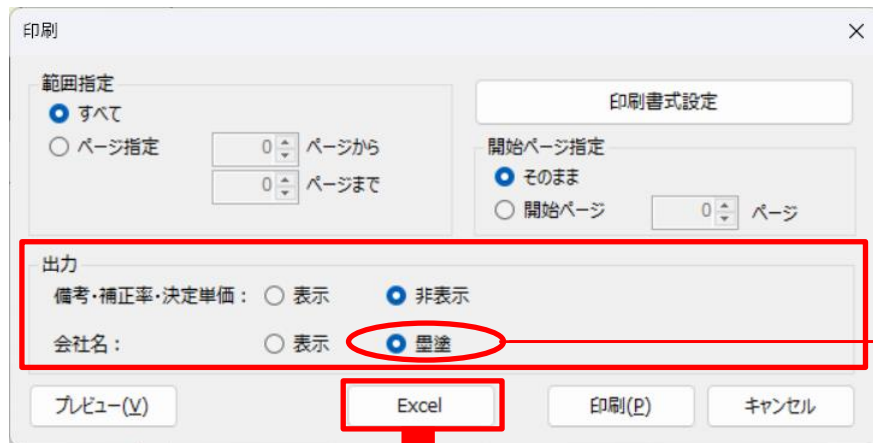
## 7. 見積比較ファイルの Excel 出力機能

見積比較ファイルの印刷イメージを、Excel 形式に出力する機能を追加しました。

併せて、「備考・補正率・決定単価」の表示／非表示や「会社名」の表示／墨塗等が選択できる機能を追加しました。

注：墨塗は、すべての会社名のセルを塗りつぶします。

### <印刷／印刷プレビュー>



### <Excel 出カイメージ>

No.	名称	単価	会社	A社	B社	C社	D社	E社	F社	G社	H社	I社	J社	K社	L社	M社	N社	O社
土工																		
	No.	名称	単価															
01	埋立発生土処分	m <sup>3</sup>	1,800															
	調整額																	
	見積金額																	
地業																		
	No.	名称	単価															
01	真形鉄筋	SS235A 32φ	190															
02	平鋼	SS400 19×4×60	6.8															
03	鋼材積上げ手摺		-1.8															
04	土工費		1															
05	既設部	既設部引当	60															
	調整額																	
	見積金額																	
鉄筋																		
	No.	名称	単価															
01	真形鉄筋	SS235A D10	132.6															
02	真形鉄筋	SS235A D18	226															
03	ひびき手摺		-13															
	調整額																	